

「新しい社会的養育ビジョン」の里親等委託率の数値目標について

○ 「新しい社会的養育ビジョン」において示された里親等委託率(※)の数値目標(乳幼児75%以上、学童期以降50%以上)は、里親等への委託となる子どもの数について、一定の仮定の下で算出されたもの。

$$\frac{\text{里親等委託児童数(里親+ファミリーホーム)}}{\text{要保護児童数(里親等委託児童数 + 児童養護施設+乳児院入所児童数)}} = \text{里親等委託率}$$

《乳幼児75%以上の数値目標について》

○ 要保護児童数(実績)

| | |
|-----------------|-------------|
| 里親等に委託されている児童 | 1,576人(A) |
| 乳児院に入所している児童 | 3,146人 |
| 児童養護施設に入所している児童 | 5,645人 |
| 合計 | 10,367人・・・① |

※児童数は平成25年2月現在

○ 里親等委託児童の増加見込み(仮定)

※上記、乳児院・児童養護施設に入所する子どものうち、以下の子どもを里親委託すると仮定

- (1) 乳児院において6か月以上入所している子ども(2,391人)
 - (2) 児童養護施設に入所する子どもで乳児院から措置変更された子ども(2,400人)
 - (3) 児童養護施設において1年以上入所している子ども(1,622人)
- 合計: 6,413人(B)

⇒ 増加後の里親等委託児童数(A+B) 7,989人・・・②

$$\frac{\text{里親等委託児童数 } 7,989 \text{人(②)}}{\text{要保護児童数 } 9,867 \text{人(①)}} = \text{約75\%}$$

* 特別養子縁組に移行する児童の増加見込み(現状: 約500件 → ビジョン目標値: 1,000件)

《学童期以降50%以上の数値目標について》

○ 学童期以降50%以上の数値目標については、

- ・ 被虐待等による家庭環境への拒否感など、年齢が高くなるにつれ、子ども本人の意思表示が明確になること
 - ・ 年齢が高くなるにつれ、障害が顕在化してくること 等
- の理由により、乳幼児期と比較して、里親委託が困難又は適当でない子どもが増加することから、乳幼児期の数値目標より低く設定されたもの。

(算式1を参照して算出した場合)

厚生労働省の「『新しい社会的養育ビジョン』の里親委託率の数値目標について」の考え方に倣い、措置児童の家庭復帰調査の結果をもとに算出。

《乳幼児の数値目標について》

○要保護児童数（平成30年12月1日時点の実績）

| | | |
|------------------|---------|-------------|
| 里親等に委託されている乳幼児 | 48人 (A) | |
| 乳児院に入所している乳幼児 | 163人 | |
| 児童養護施設に入所している乳幼児 | 126人 | 合計：337人・・・① |

○里親等委託児童の増加見込み（平成30年12月1日時点の実績をもとに試算）

※上記、乳児院・児童養護施設に入所する子どものうち、以下の子どもを里親委託すると仮定

| | | |
|------------------------------------|-----------|-------------|
| (1) 乳児院において6か月以上入所している乳幼児 | (108人) | |
| (2) 児童養護施設に入所する子どもで乳児院から措置変更された乳幼児 | (多くとも49人) | |
| (3) 児童養護施設に1年以上入所している乳幼児 | (77人) | 合計：234人 (B) |

⇒ 増加後の里親等委託児童数 (A+B) 282人・・・②

| | | |
|----------|------|----------|
| 里親等委託児童数 | 282人 | |
| 要保護児童数 | 337人 | = 約83.7% |

(算式1を参照して算出した場合)

厚生労働省の「『新しい社会的養育ビジョン』の里親委託率の数値目標について」の考え方に倣い、措置児童の家庭復帰調査の結果をもとに算出。

《学童期以降のこどもの数値目標について》

○要保護児童数（平成30年12月1日時点の実績）

里親等に委託されている学童期以降のこども 135人（A）

乳児院に入所している学童期以降のこども 0人

児童養護施設に入所している学童期以降のこども 629人

合計：764人・・・①

○里親等委託児童の増加見込み（平成30年12月1日時点の実績をもとに試算）

※上記、乳児院・児童養護施設に入所する子どものうち、以下のこどもを里親委託すると仮定

（1）児童養護施設に3年以上入所している学童期以降のこども

433人（B）

⇒ 増加後の里親等委託児童数（A+B） 568人・・・②

里親等委託児童数 568人

要保護児童数 764人

= 約74.3%

(算式2を参照して算出した場合)

厚生労働省の「『新しい社会的養育ビジョン』の里親委託率の数値目標について」の里親委託率の考え方をもとに、新規措置児童ニーズ調査の結果をもとに算出

国の考え方：里親委託率＝ 里親等委託児童数（里親＋ファミリーホーム）／要保護児童数（里親等委託児童数＋児童養護施設＋乳児院入所児童数）

○新規措置児童ニーズ調査において、平成30年4月1日から9月30日までの間に乳児院・児童養護施設に入所措置、または里親・ファミリーホームに委託（措置変更を含む）した児童（139人）について、改正児童福祉法に明記されている「家庭養育優先原則」に基づき、望ましい養育環境としてそれぞれ割り振った児童数をもとに里親委託率を算出。

※本調査については、里親家庭や施設の体制が量的に十分であると仮定して回答することとしている。

| 最も望ましい措置先 | 0～2歳 | 3～5歳 | 6～17歳 | 合計 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 里親・ファミリーホーム | 46人 | 25人 | 25人 | 96人 |
| 乳児院 | 14人 | 1人 | 0人 | 15人 |
| 児童養護施設 | 0人 | 9人 | 19人 | 28人 |
| 合計 | 60人 | 35人 | 44人 | 139人 |
| 里親委託率 | 76.7% | 71.4% | 56.8% | 69.1% |

《乳幼児の数値目標について》

⇒ 上記結果より、（0～2歳）約76.7%

（3～5歳）約71.4%

＜学童期以降の数値目標について＞

⇒ 上記結果より、（6～17歳）約56.8%

国の目指す里親委託率数値目標に基づき、里親等委託及び施設での養育が必要なこども数の見込み

○国の要領に示された算式1及び算式2を参照した算出結果を比較すると、算式1よりも低い算出結果となった算式2の結果においても、国の目指す目標数値を若干上回るか近い値(0～2歳:75%に対し76.7%、3～5歳:75%に対し71.4%、6～17歳:50%に対し56.8%)となることから、目指すべき方向性はほぼ同じであるといえ、国の目指す数値を目標値とした場合のこども数の見込みを算出する。
 ○大阪市の代替養育を必要とするこども数の見込みから、「里親等委託が必要なこども数」と「施設で養育が必要なこども数」を算出するため、まず平成30年度の入所割合をもとに、代替養育を必要とするこども数の見込みから児童自立支援施設と児童心理治療施設への措置分を除く。
 ○そのうえで、各年齢区分別に国の目指す目標数値をあてはめ、里親・ファミリーホーム・乳児院・児童養護施設の見込数とする。

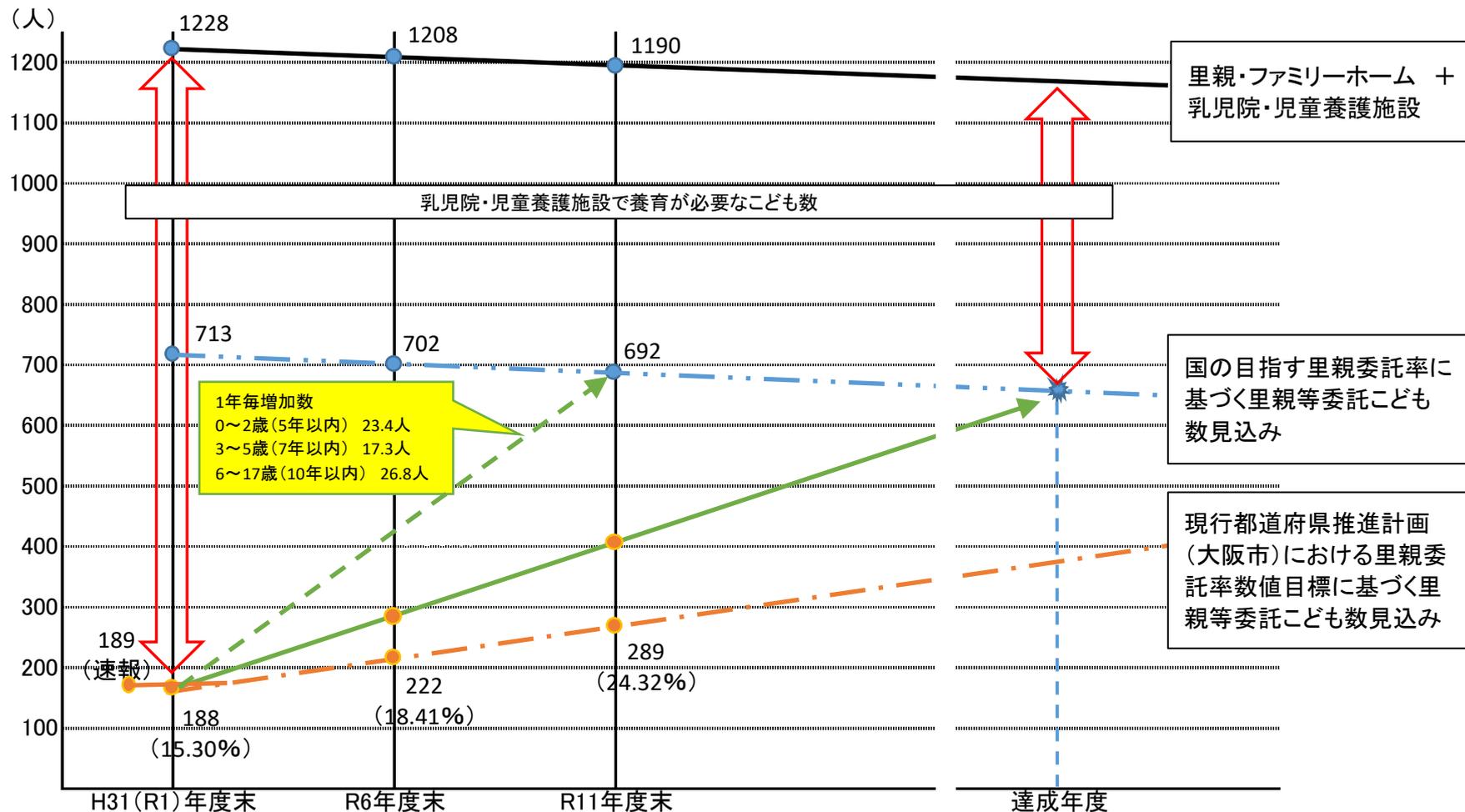
<大阪市の代替養育を必要とするこども数の見込みから、児童自立支援施設、児童心理治療施設の児童数を除いたこども数の見込み(※1)>

| | 大阪市の代替養育を必要とするこども数 | | | | 児童自立支援施設・児童心理治療施設 6～17歳 | = | 大阪市の代替養育を必要とするこども数(※1) (児童自立支援施設・児童心理治療施設を除く) | | | | |
|---------|--------------------|------|-------|-------|----------------------------|-----|--|------|-------|-----|-------|
| | 0～2歳 | 3～5歳 | 6～17歳 | 計 | | | 0～2歳 | 3～5歳 | 6～17歳 | 計 | |
| H31(R1) | 195 | 203 | 973 | 1,371 | H31(R1) | 143 | H31(R1) | 195 | 203 | 830 | 1,228 |
| R2 | 194 | 202 | 968 | 1,364 | R2 | 142 | R2 | 194 | 202 | 826 | 1,222 |
| R3 | 193 | 201 | 965 | 1,359 | R3 | 142 | R3 | 193 | 201 | 823 | 1,217 |
| R4 | 192 | 201 | 962 | 1,355 | R4 | 141 | R4 | 192 | 201 | 821 | 1,214 |
| R5 | 192 | 200 | 960 | 1,352 | R5 | 141 | R5 | 192 | 200 | 819 | 1,211 |
| R6 | 192 | 200 | 957 | 1,349 | R6 | 141 | R6 | 192 | 200 | 816 | 1,208 |
| R7 | 191 | 199 | 955 | 1,345 | R7 | 140 | R7 | 191 | 199 | 815 | 1,205 |
| R8 | 190 | 198 | 952 | 1,340 | R8 | 140 | R8 | 190 | 198 | 812 | 1,200 |
| R9 | 190 | 198 | 948 | 1,336 | R9 | 139 | R9 | 190 | 198 | 809 | 1,197 |
| R10 | 189 | 197 | 946 | 1,332 | R10 | 139 | R10 | 189 | 197 | 807 | 1,193 |
| R11 | 189 | 197 | 942 | 1,328 | R11 | 138 | R11 | 189 | 197 | 804 | 1,190 |

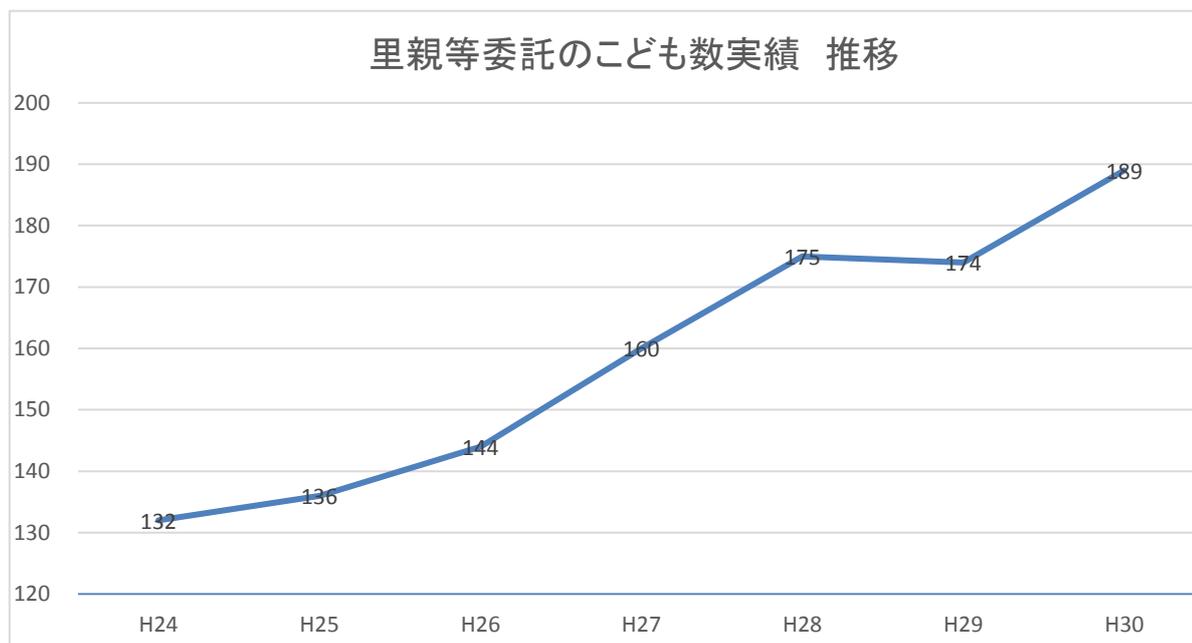
<(※1)に、国の目指す里親委託率目標数値を当てはめた場合の(里親等委託/施設養育)のこども数の見込み>

| | 里親等(里親・FH)委託が必要なこども数 | | | | 施設で養育が必要なこども数 | | | | 合計 | |
|---------|----------------------|---------------|----------------|-----|---------------|------|-------|-----|-----|-------|
| | 0～2歳 75.0% | 3～5歳 75.0% | 6～17歳 50.0% | 計 | 0～2歳 | 3～5歳 | 6～17歳 | 計 | | |
| H31(R1) | 146 | 152 | 415 | 713 | H31(R1) | 49 | 51 | 415 | 515 | 1,228 |
| R2 | 146 | 152 | 413 | 711 | R2 | 48 | 50 | 413 | 511 | 1,222 |
| R3 | 145 | 151 | 412 | 708 | R3 | 48 | 50 | 411 | 509 | 1,217 |
| R4 | 144 | 151 | 411 | 706 | R4 | 48 | 50 | 410 | 508 | 1,214 |
| R5 | 144 | 150 | 410 | 704 | R5 | 48 | 50 | 409 | 507 | 1,211 |
| R6 | 144 | 150 | 408 | 702 | R6 | 48 | 50 | 408 | 506 | 1,208 |
| R7 | 143 | 149 | 408 | 700 | R7 | 48 | 50 | 407 | 505 | 1,205 |
| R8 | 143 | 149 | 406 | 698 | R8 | 47 | 49 | 406 | 502 | 1,200 |
| R9 | 143 | 149 | 405 | 697 | R9 | 47 | 49 | 404 | 500 | 1,197 |
| R10 | 142 | 148 | 404 | 694 | R10 | 47 | 49 | 403 | 499 | 1,193 |
| R11 | 142 | 148 | 402 | 692 | R11 | 47 | 49 | 402 | 498 | 1,190 |

里親委託率の数値目標達成時期の考え方について



- 本市の調査結果を踏まえ、「里親等委託子ども数」を、国の示す目標値を最大値として設定した場合の必要となる里親等委託子ども数をグラフ化したもの。
- 一方、国の策定要領には、里親委託率の数値目標達成時期は、0~2歳で5年以内、3~5歳で7年以内、6~17歳で10年以内の実現を目指すとしてあり、本市の子ども数見込みに当てはめた場合、1年間に、0~2歳で23.4人、3~5歳で17.3人、6~17歳で26.8人の増加となる。
- 計画で増加率を策定するにあたっては、急激な里親等の増加により養育の質が担保されないこととならないよう、また、施設からの措置変更による子どもへの影響が子どもの最善の利益に反するものとならないか、アセスメント結果から慎重に検討する必要がある。
- このことから、里親委託率達成時期については、養育の質を担保しながら拡大していくための施策(フォスタリング機能の在り方)を検討する中で、達成され得る時期を慎重に定めることとする。



| | 家庭的養護推進計画の対象施設等 | | | | 小計 | 前年度からの里親等委託数の増 | 里親委託率 |
|--------|-----------------|--------|-----|----------|-------|----------------|--------|
| | 乳児院 | 児童養護施設 | 里親 | ファミリーホーム | | | |
| 平成24年度 | 172 | 951 | 99 | 33 | 1,255 | — | 10.52% |
| 平成25年度 | 182 | 916 | 90 | 46 | 1,234 | 4 | 11.02% |
| 平成26年度 | 169 | 920 | 92 | 52 | 1,233 | 8 | 11.68% |
| 平成27年度 | 157 | 866 | 113 | 47 | 1,183 | 16 | 13.52% |
| 平成28年度 | 150 | 877 | 117 | 58 | 1,202 | 15 | 14.56% |
| 平成29年度 | 162 | 868 | 107 | 67 | 1,204 | -1 | 14.45% |
| 平成30年度 | 174 | 849 | 104 | 85 | 1,212 | 15 | 15.59% |



※平成30年度は集計中にこども相談センターから確認した速報値であり、数値が若干前後する可能性があります。